

現総合計画の評価

新たな第6次津久見市総合計画の基本構想をもとに、今後、個別具体的な施策を検討していく必要があります。

その検討材料の1つとして、現行の第5次総合計画(後期基本計画)の計31施策に関する、市民や庁内からの評価を比較して示します。



現計画の評価方法：**散布図**の活用

各施策について、満足度・重要度等の偏差値を軸にとってプロットし、その分布から評価を行います。

I. 市民アンケートの結果から

- 左上に分布する「満足度は低いが、重要度が高い」施策が、優先的に改善・見直しが必要と考えられます。

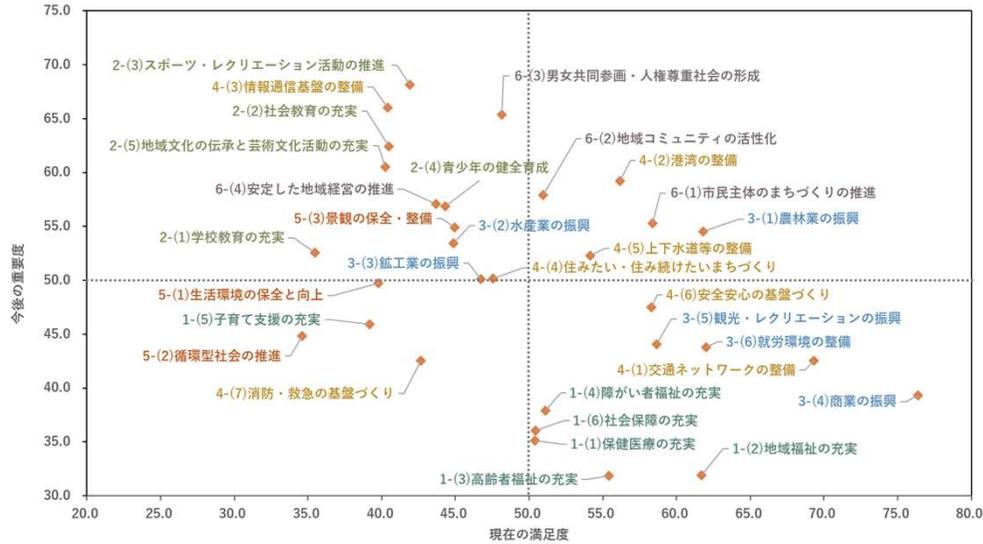


図1 市民アンケートにおける「現在の満足度」×「今後の重要度」散布図

II. Well-Beingアンケートの結果から

- Well-Beingアンケートで得られた主観指標を、31施策に割り当てることで(※p.2参照)、散布図を作成しました。
- 図1とはやや異なる基準から、左上の「満足度は低いが、重要度が高い」施策を特定することが可能になります。

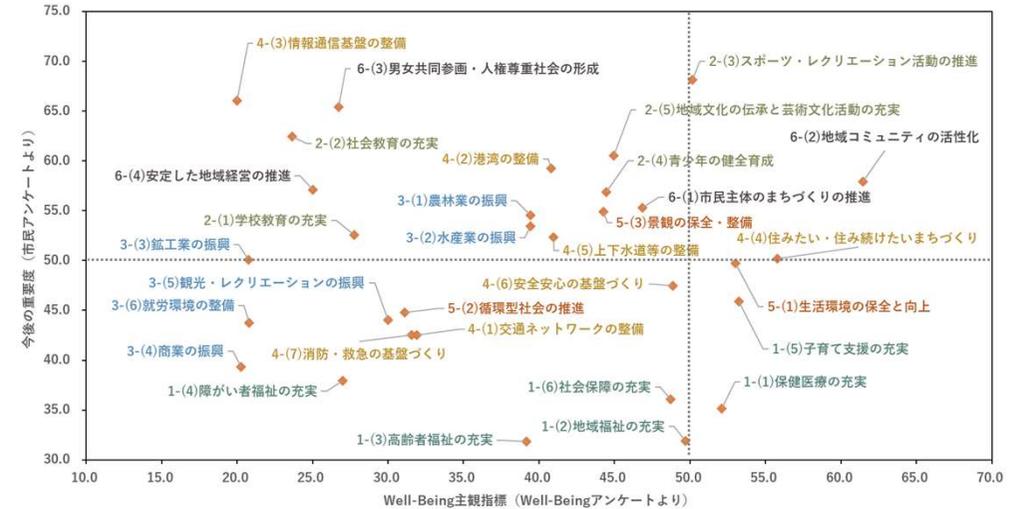


図2 Well-Beingアンケートにおける「生活満足度」×市民アンケートにおける「今後の重要度」散布図

III. 庁内各課によるKPIの達成率評価から

- 庁内各課による各施策の達成率評価と、市民の満足度を比較することで、各施策の適切性を把握します。
- 左上に分布する「庁内の評価は高いが、市民からの評価は低い」施策が、優先的に改善・見直しが必要と考えられます。

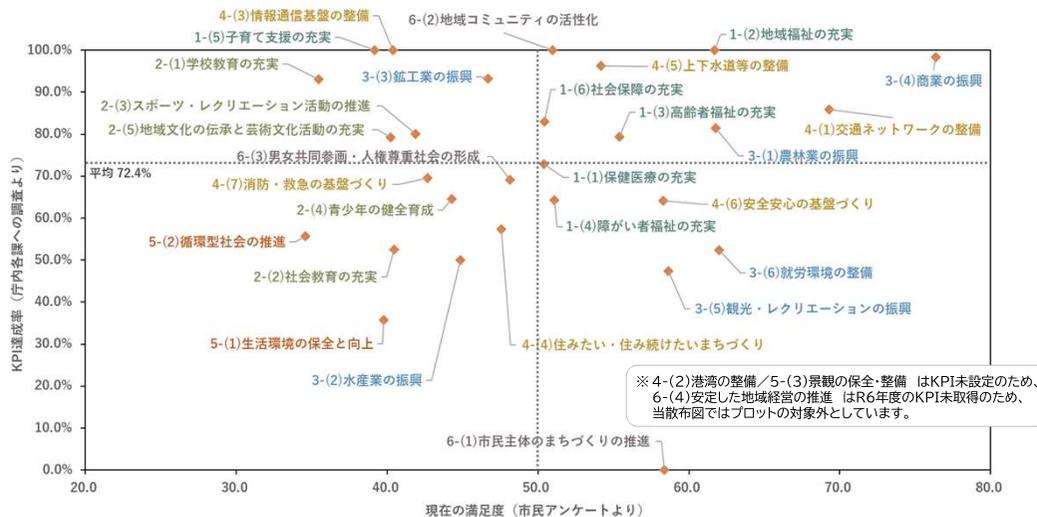


図3 市民アンケートにおける「現在の満足度」×庁内各課による「KPI達成率」散布図

まとめ

- 散布図では、「満足度は低いが、重要度または庁内評価が高い」施策が左上に分布しており、これらについて、優先的な改善・見直しが必要と考えられます。2つ以上の散布図で左上に分布した施策は以下のとおりです。

2-(1) 学校教育の充実

3-(2) 水産業の振興

2-(2) 社会教育の充実

3-(3) 鉱工業の振興

2-(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進

4-(3) 情報通信基盤の整備

2-(4) 青少年の健全育成

5-(3) 景観の保全・整備

2-(5) 地域文化の伝承と芸術文化活動の充実

6-(4) 安定した地域経営の推進

※下線項目はすべての散布図で左上に分布

- 地域文化や、水産業・鉱工業、景観など、**津久見市の強みである分野の施策に、改善・見直しが必要**と評価されたことは注目に値します。今後、これらの施策を練るにあたっては、注意深い検討がなされるべきです。

- そのほか、**教育分野**の施策の改善・見直しが進められているほか、急速に社会のデジタル化が進行する昨今では欠かせない**情報通信基盤**や、**地域経営**の施策についても、優先的な改善・見直しが必要と言えます。

